

調布市武者小路実篤記念館

令和2年度の主な新収蔵図書・逐次刊行物(新刊)

※令和2年度に新たに収蔵した資料のうち、武者小路実篤・白樺・新しき村等に関する記述がある主な新刊図書・逐次刊行物を記載。

上記の三点に直接の言及がないもの、古書等は含みません。

分類	タイトル	著作者	発行日	発行者	備考
図書	李登輝より日本へ 贈る言葉	李登輝	2014年6月	ウエッジ	実篤「君は君、我は我なり、されど仲良き」を引用
図書	日本美術全集 第6巻 テーマ巻 1 東アジアのなかの日本美術		2015年3月	小学館	呉孟晋「石濤への憧れとその実際―大正後期の「解衣社」の画家たちをめぐる―」において、岸田劉生、柳宗悦、『白樺』に言及
図書	近代日本水彩画一五〇年史		2015年12月	国書刊行会	梅原龍三郎、岸田劉生、南薫造を取り上げる
図書	『文藝春秋』の戦争 戦前期リ ベラリズムの帰趨 筑 摩選書	鈴木貞美	2016年4月	筑摩書	『白樺』、実篤、志賀直哉、「新しき村」に言及
図書	歴史と戦争 幻 冬舎新書	半藤一利	2018年3月	幻冬舎	実篤、長與善郎、高村光太郎を引用
図書	14歳、明日の時間割	鈴木るりか	2018年10月	小学館	主人公が実篤『お目出たき人』に言及
図書	慶應義塾文学科教授 永井荷 風 集英社新書	末延芳晴	2018年12月	集英社	『スバル』、『三田文學』、『新思潮』、『白樺』四誌合同雑誌計画について言及
図書	古本屋散策	小田光雄	2019年5月	論創社	『白樺』、洛陽堂芸術社刊『武者小路実篤全集』、岸田劉生に言及
図書	まなの本棚	芦田愛菜	2019年7月	小学館	実篤『友情』の感想と解説収録
図書	室内生活 スローで過剰な読書 論	楠木建	2019年10月	晶文社	実篤とその文体などに言及
図書	“裸”になって本音を見せた 文 豪が泊まった温泉宿50	週刊朝日編集 部	2019年11月	朝日新聞出版	実篤、志賀直哉、有島武郎、里見弴を取り上げる

図書	映画のなかの「北欧」その虚像と実像		2019年11月	小鳥遊書房	映画「世界を賭ける恋」(原作:実篤「愛と死」)に言及
図書	ひねもすのたり日記 3	ちばてつや	2019年12月	小学館	第77回「ひと筋の道」において実篤に言及
図書	藤沢周平の読書遍歴	鯨井佑士	2019年12月	朝日出版社	有島武郎、有島生馬、長与善郎に言及
図書	『キング』の時代 国民大衆雑誌の公共性 岩波現代文庫	佐藤卓己	2020年1月	岩波書店	実篤『二宮尊徳』および書画に言及
図書	レジェンド 文豪のありえない話 DIA Collection		2020年1月	ダイアプレス	実篤、有島武郎、志賀直哉に言及
図書	京都名筆散歩 古都で「書」にひたる	中村史朗	2020年1月	淡交社	実篤が揮毫した亀屋良永の看板を取り上げる
図書	文化表象としての村上春樹 世界のハルキの読み方		2020年1月	青弓社	杉淵洋一「震災の内側と外部をつなぐもの―「白樺」派から村上春樹へ」
図書	無垢と罪 新装版	岸田るり子	2020年1月	徳間書店	実篤「愛と死」に言及
図書	マンガ 名詩・短歌・俳句物語 1 名詩 上		2020年2月	学研プラス	実篤の詩「一個の人間」収録、実篤を漫画で紹介
図書	韓国陶磁史の誕生と古陶磁ブーム	鄭銀珍	2020年2月	思文閣出版	浅川伯教と『白樺』、柳宗悦、実篤ら白樺同人とのかかわりに言及
図書	自然を前にした人間の哲学―古代から近代にかけての12の問いかけ		2020年2月	慶應義塾大学出版会	鎌田由美子「柳宗悦の自然観と絨毯 日本における遊牧民絨毯の受容とその背景」
図書	陶工の本	バーナード・リーチ	2020年2月	河出書房新社	
図書	二笑亭綺譚	式場隆三郎/柳宗悦/谷口吉郎/五十嵐太郎	2020年2月	中西出版	
図書	ロンドン・ナショナル・ギャラリー展 完全ガイドブック	朝日新聞出版	2020年3月	朝日新聞出版	「芦屋のひまわり」図版と解説

図書	九州の100冊	西日本新聞「九州の100冊」取材班	2020年3月	公益財団法人九州文化協会	日向新しき村および実篤の詩「君も僕も美しい」紹介
図書	定本 漱石全集 第28巻		2020年3月	岩波書店	和文索引に武者小路公共、武者小路実篤の項目あり
図書	奈良の文学とことば 奈良大ブックレット	山田昇平/岸江信介/中尾和昇/光石亜由美/木田隆文/松本大	2020年3月	ナカニシヤ出版	「武者小路実篤と奈良」「志賀直哉と奈良」
図書	有島武郎をめぐる物語 ヨーロッパに架けた虹	杉淵洋一	2020年3月	青弓社	実篤『或る家庭』『良寛』に言及
図書	英文版『柳宗悦コレクション(オリジナル編集)』	柳宗悦	2020年4月	一般財団法人出版文化産業振興財団	
図書	絵画の運命 美しきもの見し人は	柴崎信三	2020年4月	幻戯書房	「白樺派とバブル期を結ぶ神話—ゴッホ『医師ガシェの肖像』と『ひまわり』」／実篤『美術を語る』引用
図書	漢学と近代文学 講座 近代日本と漢学 第6巻		2020年4月	戎光祥出版	瀧田浩「武者小路実篤と漢学—勘解由小路家・高島平三郎からの影響と『論語私感』」
図書	昭和史の本質 良心と偽善のあいだ	保阪正康	2020年4月	新潮社	七章「知識人の喧嘩にはひと味の苦みを—性欲をつくるのには骨が折れた(武者小路実篤)」
図書	文豪と借金 泣きつく・途方に暮れる・踏みたおす・開きなおる・貸す六十八景		2020年4月	方丈社	実篤「遺言状」収録
図書	文豪のすごい言葉づかい辞典 TJMOOK		2020年4月	宝島社	実篤『気まぐれ日記』引用、解説
図書	民芸の意味 道具・衣食住・地方性	式場隆三郎	2020年4月	書肆心水	
図書	明治維新を問い直す—日本とアジアの近現代— 地球社会ライブラリ		2020年4月	一般財団法人九州大学出版会	呉佩珍「真杉静枝と坂口禰子の台湾表象—「自伝的小説」に描かれた日台植民地史」において実篤に言及
図書	近代出版史探索 II	小田光雄	2020年5月	論創社	「有島武郎の個人雑誌『泉』の流通販売事情」「新潮社、叢文閣、『有島武郎著作集』」

図書	志賀直哉異論	諸井秀文	2020年5月	風詠社	
図書	夏目漱石の 人生を切り拓く言葉 草思社文庫	齋藤孝	2020年6月	草思社	実篤と漱石の交流に言及／漱石から実篤宛書簡(大正4年6月15日付)引用
図書	140字の文豪たち	川島幸希	2020年7月	秀明大学出版会	志賀直哉『留女』実篤宛て献呈本、実篤関連ツイート収録
図書	愛の手紙の決めゼリフ 文豪はこうして心をつかんだ	中川越	2020年7月	海竜社	第三章 友愛の決めゼリフ「友情色に恋愛色が混ざる言葉を告白した武者小路実篤」
図書	眠れないほどおもしろいやばい文豪 王様文庫	板野博行	2020年8月	三笠書房	4章「ピュアすぎる」のも考えもの どうしても“突き詰めず”にはいられない! 「お目出たき人すぎる」上流階級のお坊ちゃん 武者小路実篤 「仲良き事は美しき哉」日本中に色紙をばらまく
図書	あのころ、うちのテレビは白黒だった 昭和の時代のふつうの暮らし	平野恵理子	2020年9月	海竜社	第1章 玄関 「玄関には「実篤額」
図書	関東大震災朝鮮人虐殺の記録<普及版> 東京地区別1100の証言		2020年9月	現代書館	里見弴「安城家の兄弟」、志賀直哉「震災見舞(日記)」、有島武郎「惜しみなく愛は奪う」に言及
図書	混声合唱曲 進め、進め(楽譜)	武者小路実篤(作詩) 信長貴富(作曲)	2020年9月	カワイ出版	
図書	読むという抗い 小説論の射程	千田洋幸	2020年9月	溪水社	「氾濫—反乱するシニフィアン—有島武郎『或る女』の物語言説をめぐって—」／実篤の島崎藤村評価を引用
図書	有島武郎—地人論の最果てへ 岩波新書	荒木優太	2020年9月	岩波書店	「『白樺』誕生」において生馬、実篤、志賀直哉に言及
図書	恋愛学で読みとく文豪の恋 光文社新書	森川友義	2020年9月	光文社	第3章「三角関係」と「片思い」、あるいは「失恋」まで——武者小路実篤『友情』
図書	古典の未来学—Projecting Classicism		2020年10月	文学通信	前川志織「第21章 洋画家・岸田劉生の初期の制作にみる古典性の投企」
図書	世の中と足並みがそろわない	ふかわりょう	2020年11月	新潮社	「拝啓 実篤様」

図書	宮城道雄著作全集 3 対談・座談	宮城道雄	2020年12月	講談社エディトリアル	「春宵あれこれ閑談会」出席者 梅原龍三郎、谷崎潤一郎、観世喜之、宮本憲吉、里見弴、宮城道雄、志賀直哉
図書	日本語の勘 作家たちの文章作法	中村明	2020年12月	青土社	実篤にインタビューした思い出／永井龍男へのインタビューで実篤に言及
図書	眠れないほどタメになる言葉 しんどいをはね返す！バネになる73の知恵		2020年12月	Clover出版	実篤の言葉「人生にとって健康は目的ではない。しかし最初の条件なのである」を引用
図書	和辻哲郎座談 中公文庫	和辻哲郎	2020年12月	中央公論新社	対談「戦争と平和 志賀直哉」、対談「文学と宗教 高坂正顕 竹山道雄 長與善郎」収録
図書	志賀直哉の短編小説を読み直すー「小説の神様」が仕組んだ「神話」と「歴史」のトリック 読み直し文学講座	島村輝	2021年1月	かもがわ出版	
図書	書の風流 近代藝術家の美学	根本知	2021年1月	春陽堂書店	「武者小路実篤 書とことば」「柳宗悦 書と用」「中川一政 書と遅筆」
図書	超訳マンガ 国語で習う 名詩・短歌・俳句物語 作家の人生 名作 新しい伝記EX		2021年1月	学研プラス	「武者小路実篤」
図書	洋画家の美術史	ナカムラ クニオ	2021年1月	光文社	「孤高のリアリズム画家 岸田劉生」
図書	加藤周一自選集 7 1984-1986	加藤周一	2010年3月	岩波書店	実篤に言及
図書	日本を襲ったスペイン・インフルエンザー人類とウィルスの第一次世界戦争ー	速水融	2020年2月	藤原書店	志賀直哉「流行性感冒と石」、実篤「愛と死」に言及
図書	文豪春秋	ドリヤス工場	2020年6月	文藝春秋	「志賀直哉 暗夜交誼」で実篤ら白樺派を紹介
逐次刊行物	読売中高生新聞 第228号 2019年（平成31年）3月29日		2019年3月	読売新聞東京本社	「キミ本大賞「友達とは？」編 発表ベスト20の第3位実篤『友情』を紹介
逐次刊行物	女性自身 5月12・19日 合併号 第63巻 第16号 2911号		2020年4月	光文社	「作家7人推薦「今だから読みたいこの1冊」で林真理子が新潮文庫『愛と死』（武者小路実篤 新潮社 506円）を推薦

逐次刊行物	月刊絵手紙 10月号		2020年10月	一般財団法人日本 絵手紙協会	実篤の詩「いゝ墨」収録
逐次刊行物	近代画説 明治美術学会誌 第 二十九号		2020年12月	明治美術学会	迫内祐司「今戸精司一趣味人としての彫刻家」で実 篤、岸田劉生、高村光太郎、勘解由小路資承らに言 及
逐次刊行物	美術史 第百八十二冊		2017年3月	美術史學會	野村優子「マイアー＝グレーフェの「ゴッホ論」と『白 樺』時代の武者小路実篤のゴッホ受容」

逐次刊行物	光太郎資料 53		2020年4月	高村光太郎連翹忌 運営委員会	「高村光太郎初出索引(年月日順一)」に「白樺美術館 について」
逐次刊行物	光太郎資料 54		2020年10月	高村光太郎連翹忌 運営委員会	「高村光太郎初出索引(年月日順二)」に『南薫造、有 島壬生馬滞欧記念絵画展覧会目録』、『白樺』
逐次刊行物	民藝 第808号 2020年 4月号		2020年4月	日本民藝協会	
逐次刊行物	民藝 第809号 2020年 5月号		2020年5月	日本民藝協会	
逐次刊行物	民藝 第810号 2020年 6月号		2020年6月	日本民藝協会	
逐次刊行物	民藝 第811号 2020年 7月号		2020年7月	日本民藝協会	
逐次刊行物	民藝 第812号 2020年 8月号		2020年8月	日本民藝協会	
逐次刊行物	民藝 第813号 2020年 9月号		2020年9月	日本民藝協会	
逐次刊行物	民藝 第814号 2020年10月号		2020年10月	日本民藝協会	
逐次刊行物	民藝 第815号 2020年11月号		2020年11月	日本民藝協会	
逐次刊行物	民藝 第816号 2020年12月号		2020年12月	日本民藝協会	
逐次刊行物	民藝 第817号 2021年1月号		2021年1月	日本民藝協会	
逐次刊行物	民藝 第818号 2021年2月号		2021年2月	日本民藝協会	
逐次刊行物	民藝 第819号 2021年3月号		2021年3月	日本民藝協会	
逐次刊行物	新しき村 第72巻 第2号		2020年4月	新しき村	
逐次刊行物	新しき村 第72巻 第3号		2020年7月	新しき村	
逐次刊行物	新しき村 第72巻 第4号		2020年10月	新しき村	
逐次刊行物	新しき村 第73巻 第1号		2021年1月	新しき村	
逐次刊行物	新しき村通信 2019年9月号(第 4号)		2019年9月	新しき村	
逐次刊行物	新しき村通信 2019年11月号 (第5号)		2019年11月	新しき村	
逐次刊行物	新しき村通信 2019年12月号 (第6号)		2019年12月	新しき村	
逐次刊行物	新しき村通信 2020年2月号(第 7号)		2020年2月	新しき村	

逐次刊行物	新しき村通信 2020年3月号 (第8号)		2020年3月	新しき村	
逐次刊行物	新しき村通信 2020年5月号 (第9号)		2020年5月	新しき村	
逐次刊行物	新しき村通信 2020年6月号 (第10号)		2020年6月	新しき村	
逐次刊行物	新しき村通信 2020年8月号 (第11号)		2020年8月	新しき村	
逐次刊行物	新しき村通信 2020年9月号 (第12号)		2020年9月	新しき村	
逐次刊行物	新しき村通信 2020年12月号 (第13号)		2020年12月	新しき村	
印刷物	令和2年度船橋市所蔵作品展 「椿貞雄と清川コレクション」		2020年12月	船橋市教育委員会	
印刷物	永青文庫 財団設立70周年記念 美の探求者 細川護立		2020年	公益財団法人永青文庫	志賀直哉、実篤、木下利玄、正親町公和、児島喜久雄、『白樺』に言及